

7月2日 使徒言行録 11章 1～18節 今日の説教から

説教題：「きよいもの、きよくないもの」

今日の個所にはペトロが幻の中で神様から与えられた言葉の中に、ペトロが食べてはいけないものとして理解していた「地上の獣、野獣、這うもの、空の鳥など」が登場しています。特にこの食物規定について詳しく書かれているのがレビ記 11章で、そこには食べてはいけないものがいくつも並べられています。この要旨の裏面下部分に、その動物たちを抜き出してみましたので、よかったらご覧ください。

異邦人と一緒に食事をするということは、これらのリストに定められている、「食べてはいけないもの」を知らずのうちに口にすると危険性があります。その多くが寄生虫やウイルスの危険性のある動物なのですが、イスラエルの民はそれ以上に信仰という意味で、これらの動物を避けていました。

今日の個所の 15 節では、異邦人への聖霊降臨の出来事が起きています。「聖霊が最初わたしたちの上に降ったように、彼らの上にも降ったのです。そのとき、わたしは、『ヨハネは水で洗礼を受けたが、あなたがたは聖霊によって洗礼を受ける』と言っておられた主の言葉を思い出しました」とペトロが語るように、異邦人に対して自分たちと同じように聖霊が注がれたことを証しし、異邦人への聖霊降臨が神様の業であることを語っています。「わたしのような者が、神がそうなさるのをどうして妨げることができたでしょうか」という言葉に、「何故異邦人と食事をしたのか」と非難をしたユダヤ人に対する答えが示されているのです。

神さまが創り出したものに、清いものと清くないものがあるわけではありません。あくまでも食物規定というものは、当時の人々のためを思って神様が律法として与えたものなのです。当時のイスラエルの民に必要な形で、神様は正しい生き方をするその道しるべとして律法が与えられたのです。いま私たちは、イエス様の十字架によって、律法に従う生き方ではなく、イエス様の御言葉に従う生き方を与えられています。だからこそ、普段の生活の中で律法を意識することはないと思います。それでは、律法に縛られていない私たちは何の掟に従って生きて行けばいいのでしょうか。それはやはり、イエス様が教えてくださっている、神様を愛する事、隣人を愛する事、それに根差した愛の行いをこの世で続けていく事なのでしょう。

きよい・きよくないという区別は、多くの場合が「きよくないものを排除する」という形で行われるものです。そうではなく、私たちは「清くなるために生きる」「神様に喜んでもらうために生きる」ことが求められているのではないのでしょうか。そうであれば、この愛の掟を当てはめるのも他の誰かではなくて自分に対してであり、誰かに対して「愛に生きる事が出来ているのか」と目を光らせるのではなく、自分こそが「愛に生きる事が出来ているのか」と自問自答をする、それが私たちが目指すべき「きよい生き方」なのだと思います。

私たちは礼拝を通じて、御言葉を通じて、そして聖餐式を通じて日々清められています。その喜びを胸に、今週一週間の歩みを、これからの歩みを共に進めていきましょう。

今日の説教箇所：使徒言行録 11 章 1～18 節

• 1:さて、使徒たちとユダヤにいる兄弟たちは、異邦人も神の言葉を受け入れたことを耳にした。ペトロがエルサレムに上って来たとき、割礼を受けている者たちは彼を非難して、「あなたは割礼を受けていない者たちのところへ行き、一緒に食事をした」と言った。そこで、ペトロは事の次第を順序正しく説明し始めた。「わたしがヤッファの町にいて祈っていると、我を忘れたようになって幻を見ました。大きな布のような入れ物が、四隅でつるされて、天からわたしのところまで下りて来たのです。その中をよく見ると、地上の獣、野獣、這うもの、空の鳥などが入っていました。そして、『ペトロよ、身を起こし、屠って食べなさい』と言う声を聞きましたが、わたしは言いました。『主よ、とんでもないことです。清くない物、汚れた物は口にすることがありません。』すると、『神が清めた物を、清くないなどと、あなたは言うてはならない』と、再び天から声が返って来ました。

• 10:こういうことが三度あって、また全部の物が天に引き上げられてしまいました。そのとき、カイサリアからわたしのところに差し向けられた三人の人が、わたしたちのいた家に到着しました。すると、“霊”がわたしに、『ためらわないで一緒に行きなさい』と言われました。ここにいる六人の兄弟も一緒に来て、わたしたちはその人の家に入ったのです。彼は、自分の家に天使が立っているのを見たこと、また、その天使が、こう告げたことを話してくれました。『ヤッファに人を送って、ペトロと呼ばれるシモンを招きなさい。あなたと家族の者すべてを救う言葉をあなたに話してくれる。』わたしが話したすと、聖霊が最初わたしたちの上に降ったように、彼らの上にも降ったのです。そのとき、わたしは、『ヨハネは水で洗礼を授けたが、あなたがたは聖霊によって洗礼を受ける』と言っておられた主の言葉を思い出しました。こうして、主イエス・キリストを信じるようになったわたしたちに与えてくださったのと同じ賜物を、神が彼らにもお与えになったのなら、わたしのような者が、神がそうなさるのをどうして妨げることができたでしょうか。」この言葉を聞いて人々は静まり、「それでは、神は異邦人をも悔い改めさせ、命を与えてくださったのだ」と言って、神を賛美した。

レビ記 11 章より 食べてはいけないもののリスト

らくだ、岩狸、野兎、いのしし、ひれやうろこのない魚、禿鷲、ひげ鷲、黒禿鷲、鳶、隼の類、鳥の類、鷲みみずく、小みみずく、虎ふずく、鷹の類、森ふくろう、魚みみずく、大このはずく、小きんめふくろう、このはずく、みさご、こうのとりの、青鷲の類、やつがしら鳥、こうもり。羽があり、四本の足で動き、群れを成す昆虫（バッタはよしとする）、肉球のある動物、もぐらねずみ、とびねずみ、とげ尾とかげの類、やもり、大とかげ、とかげ、くすりとかが、カメレオン、地上を這う爬虫類